

# 株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援に感謝申し上げるとともに、  
当社商品へのご理解を深めていただくため、株主優待制度を導入しております。

**対象となる株主様** 毎年3月31日現在、当社株主名簿に記載または記録された500株以上を保有されている株主様を対象といたします。

**優待内容** 以下のとおり、保有株式数に応じて当社商品をお送りします。発送は7月中を予定しています。

保有株式数

**500株以上1,000株未満の株主様**  
3,000円相当の当社商品 (10個)

保有株式数

**1,000株以上の株主様**  
5,000円相当の当社商品 (16個)



※お届けする商品と画像が異なる場合があります。

## 日本水産株式会社

〒105-8676 東京都港区西新橋1-3-1 西新橋スクエア

ウェブサイト <https://www.nissui.co.jp/>



本誌は環境へのやさしさに配慮して、FSC®認証紙と植物油インキを使用するとともに、針金を使わない「ECO綴じ」にて製本しています。



# NISSUI REPORT 第107期

2021.4.1 ▶▶ 2022.3.31

## 日本水産株式会社

証券コード：1332



まだ見ぬ、食の力を。

# Top Message -株主の皆様へ-

トップメッセージ

## 心と体を豊かにし、 社会課題を解決する「新しい食」を提供してまいります。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。はじめに、新型コロナウイルス感染症により罹患された方々や、さまざまな影響を受けられた方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。また、医療関係者の皆様をはじめ、感染防止にご尽力いただいている皆様に深く感謝申し上げます。

日本水産株式会社  
代表取締役 社長執行役員  
最高経営責任者(CEO)

浜田 晋吾



### 2021年度の実績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返されたものの、政府による各種経済対策の効果もあり、企業収益や個人消費に持ち直しの動きが見られました。世界経済につきましては、欧米では感染者数こそ増加したものの、ワクチン普及を背景に外出制限等の措置が徐々に解除され個人消費や設備投資が増加しました。しかしながら、足元の事業環境は、新型コロナウイルスの新たな変異株の流行や、ロシアによるウクライナ侵攻を受け、急激な為替変動、物流の混乱、人件費や原材料価格の高騰など今まで以上に不透明な状況となっております。

このような中、ニッスイグループは、水産事業は国内外の養殖事業が改善し、水産物の販売も経済活動の回

復に伴い改善が見られましたが、北米のすけそうだら加工事業が苦戦しました。食品事業は欧米で家庭用・業務用ともに販売が堅調に推移しましたが、国内は円安や原材料価格高騰の影響を受け苦戦しました。

結果、当連結会計年度の営業成績は、売上高は6,936億82百万円(前期比786億37百万円増)、営業利益は270億76百万円(前期比90億77百万円増)、経常利益は323億72百万円(前期比97億2百万円増)の増益となり、最高益を更新することができました。皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

円安やエネルギーコストの上昇、原材料価格の高騰など、引き続き厳しい環境が予想されますが、変化を見逃さず、適切に打ち手を講じて対処してまいります所存です。

### 長期ビジョン「Good Foods 2030」について

企業を取り巻く環境は様々に変化しておりますが、中でも「気候変動への対応と海洋環境の保全」「資源の持続可能な調達」「健康課題の解決」「多様な人財が活躍できる社会の実現」は、当社が特に取り組むべき重要な社会課題と認識しております。このような課題に取り組むべく、当社はミッション(存在意義)をあらためて定義したうえで、長期ビジョンとして「2030年のありたい姿」を明確にいたしました。

ニッスイグループがこれまで110余年かけて培った資源アクセス力、研究開発力、生産技術力、品質保証力、世界各国に張り巡らせたグローバルリンクス・ローカル

### ミッション

私たちが突き動かすもの。  
それは「人々により良い食をお届けしたい」という志。

海で培ったモノづくりの心と未知を切り拓く力で、  
健やかな生活とサステナブルな未来を実現する  
新しい“食”を創造していきます。

### 長期ビジョン「2030年のありたい姿」

人にも地球にもやさしい食を  
世界にお届けするリーディングカンパニー  
「Good Foods 2030」

リンクスで構成するバリューチェーンを活かし、心と体を豊かにし、社会課題を解決する「新しい食」を提供してまいります。また、長期ビジョン達成のため、持続可能な社会に向けた“サステナビリティ経営”を推進するとともに、ROIC活用により成長分野へ経営資源を集中する“事業ポートフォリオマネジメント”を強化し、企業価値向上に努めます。海外市場での伸長、既存事業の収益性向上と新規事業の創出、養殖事業・ファインケミカル事業の成長と差別化を加速し、2030年には海外所在地売上高比率を50%、売上高1兆円 営業利益500億円を稼ぐ企業を目指します。

### 長期ビジョンと中期経営計画



# Top Message

トップメッセージ

## 中期経営計画「Good Foods Recipe1」について

2030年の長期ビジョンを実現するための「もうワンランク上へ行くための変革」として、中期経営計画「Good Foods Recipe1(2022～24年度)」をスタートいたしました。「経済価値」のみならず、「環境価値」「社会価値」、そして「人材価値」の向上に、グループ一丸となって取り組んでまいります。

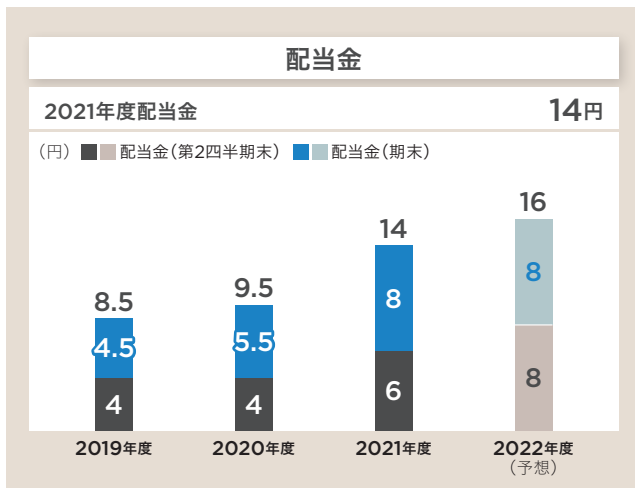
(詳細はP.5の中期経営計画「Good Foods Recipe1」をご覧ください。)

## 株主還元について

ニッスイグループの利益配分については、長期的・総合的視野に立った企業体質の強化ならびに将来成長が見込まれる分野への事業展開に備えた内部留保に意を用いつつ、経営環境の変化に対応して連結業績に応じた株主還元を行うことを基本方針としています。

2021年度は期末配当を1株当たり2.5円増配し8円(年間配当14円)とさせていただきます。2022年度につきましても16円の配当を予定しています。

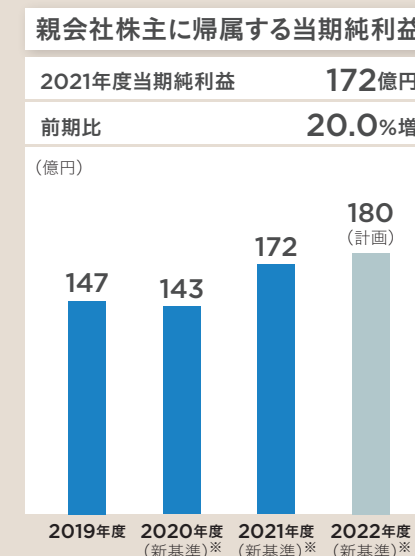
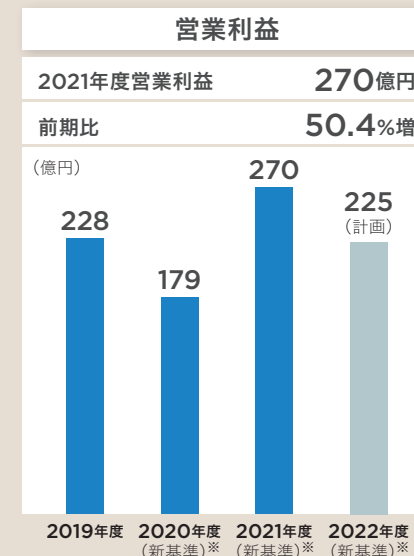
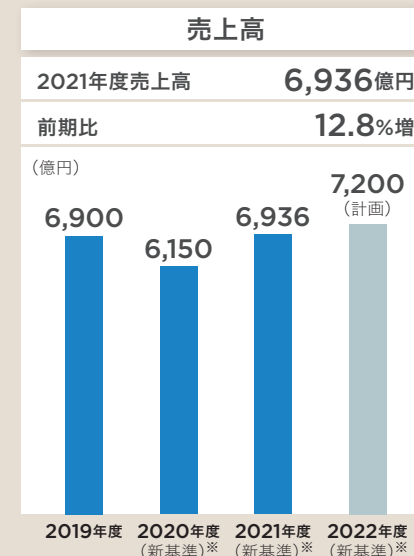
先を読み難い環境ですが、皆様のご期待に添えるよう努力してまいります。引き続きご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。



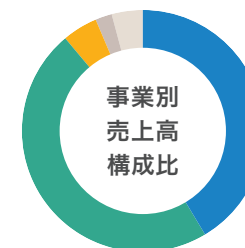
# Financial Information

2021年度決算情報(2021年4月1日～2022年3月31日)

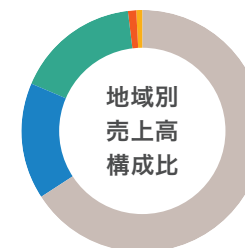
- 決算のポイント**
- ✓ 営業利益は50%増益。当期純利益も第3四半期に大きな減損があったが20%増益を達成
  - ✓ 水産事業は国内養殖の改善に加え、リバウンド消費や堅調な魚価もあり増収増益
  - ✓ 食品事業はコストアップの影響があるも、引き続き海外が売上好調で増収増益



事業	比率	金額(億円)
水産事業	41.5%	2,877
食品事業	47.4%	3,286
ファインケミカル事業	4.9%	340
物流事業	2.3%	157
その他	3.9%	274



地域	比率	金額(億円)
日本	66.1%	4,585
北米	15.5%	1,075
ヨーロッパ	16.5%	1,146
南米	1.3%	90
アジア	0.6%	39



※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。上記の2020年度および2021年度(新基準)・2022年度(計画)は当該会計等を適用した金額となっております。

より詳細なデータにつきましては、当社ウェブサイトのIR情報をご参照ください。  
<https://www.nissui.co.jp/ir/index.html>



# 中期経営計画「Good Foods Recipe 1」

## 中期経営計画KPI(財務)

**ROIC 5.5%以上** 事業の稼ぐ力を強化  
**ROE 10.0%以上** 適切な資本政策

中計KPI	2021年度実績	2024年度計画
売上高	6,936億円	7,900億円
営業利益	270億円	320億円
経常利益	323億円	350億円
当期純利益	172億円	225億円

## 中期経営計画KPI(サステナビリティ)

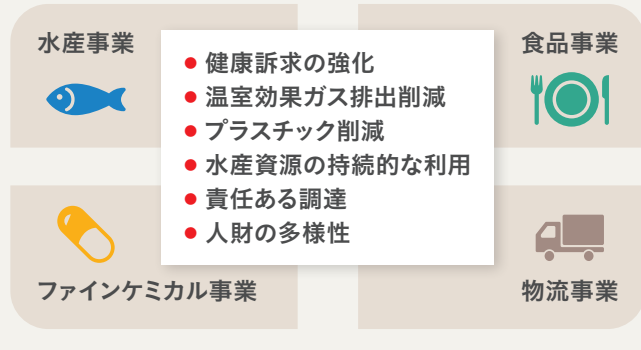
創出価値	重点テーマ	2024年度目標(KPI)
環境価値	気候変動への対応と海洋環境の保全	CO <sub>2</sub> 排出量(Scope1-2) <b>10%削減</b> *1 プラスチック使用量* <b>10%削減</b> *2
	持続可能な調達	持続可能な調達比率 <b>80%</b>
社会価値	持続可能な調達	1次サプライヤーアセスメント比率* <b>100%</b>
	健康課題の解決	当社指定の健康領域商品売上 <b>1.3倍に拡大</b> *3
人財価値	多様な人財の活躍	従業員エンゲージメントスコア* <b>10%のスコア向上</b> *3 女性幹部職比率* <b>10%</b> 執行役員、部長の女性比率 <b>10%</b>

※対象範囲はニッスイ個別  
 基準年度 \*1:2018年度(単位:総量)、\*2:2015年度(単位:原単位)、\*3:2021年度

## 6つの基本戦略

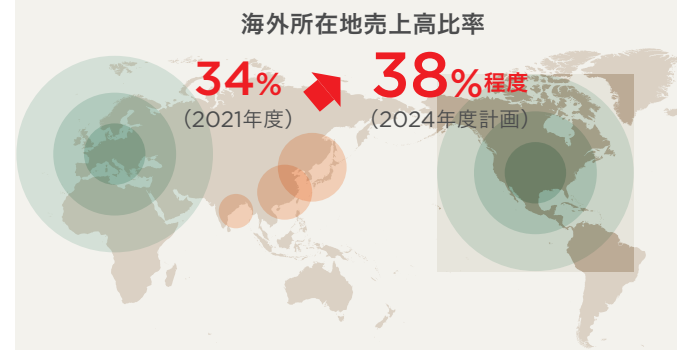
### 1. サステナビリティ経営への進化

2030年目標を念頭にテーマを掲げ全事業でサステナビリティに取り組む



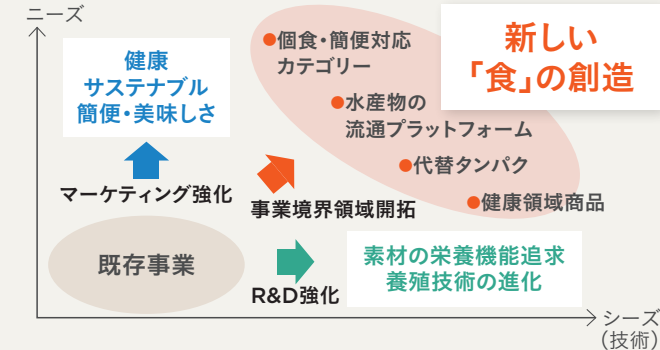
### 2. グローバル展開加速

欧米を中心に拡大し、アジアは事業基盤を確立させる  
 EPAは世界中に供給、M&Aは積極的に行う



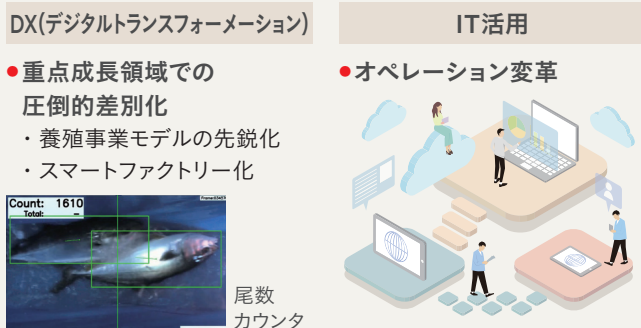
### 3. 新規事業・事業境界領域の開拓

企画力とマーケティング力を強化し、R&D機能とともに顧客価値を最大化する



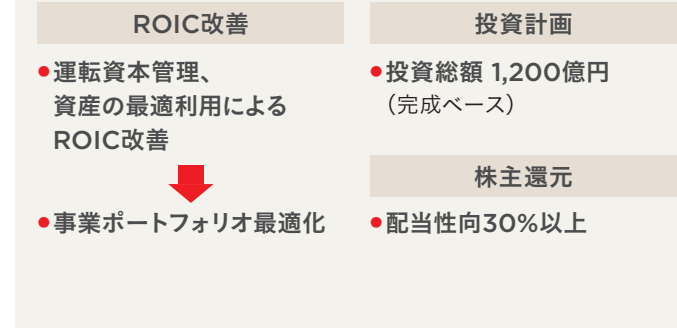
### 4. 生産性の革新

DXも活用し、価値創造の質とスピードを上げ、あらゆる分野での生産性を革新



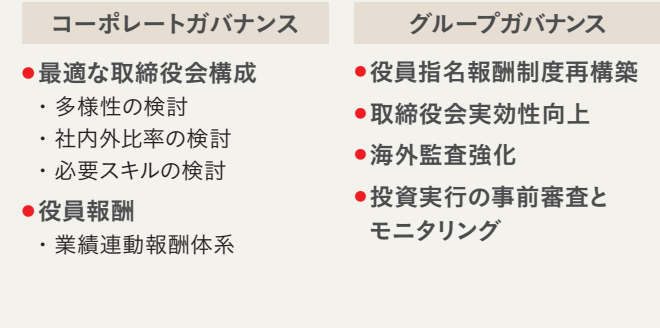
### 5. 財務戦略

各事業の収益性向上に加え、資本効率性を高める取組みを実行する



### 6. ガバナンス強化

2030年ビジョン・経営計画達成に向けた最適な取締役会構成・役員報酬体系へ



# ニッスイグループは2022年、 新しい一歩を踏み出します。

より積極的に明快にニッスイの考える「進むべき方向性」をお伝えし、  
「食」の可能性を追求し続ける企業であることをよりクリアに示します。

110余年の歴史において積み上げてきたグローバル志向やイノベーションへの姿勢に加え、  
未来を見据えて進んでいく決意を「新しいニッスイブランド」で表していきます。



まだ見ぬ、食の力を。

食に秘められた力を追求し、  
より健やかでサステナブルな未来のため、  
お客様に新しい“食”をお届けしていきます。  
商品パッケージのブランドシンボルは順次変更します。

## 2022年 春・夏新商品 Pick up

ニッスイは食卓の応援団 環境に配慮したココロとカラダのWellness Lifeを実現します

おいしく減塩

減塩おさかなの  
ソーセージ  
(フィッシュソーセージ)

「おさかなのソーセージ」のおいしさそのままに、塩分を50%カット。  
1本に1/2日分のカルシウムを配合。 ※七訂「魚肉ソーセージ」食塩相当量比。



1952年に本格生産を開始したニッスイのフィッシュソーセージは、今年で70周年を迎えました。

70周年  
特設サイト



本格的なメニューで食卓が充実

今日のおかず  
ヤンニョムチキン (家庭用冷凍食品)

コチュジャンを使用した韓国風甘辛だれを絡めた  
ヤンニョムチキン(韓国風鶏から揚げ)。



カラ  
辛メシ (家庭用冷凍食品)

豚肉・にんじん・しいたけ・ねぎ・チンゲン菜を使用した旨辛のピラフ。唐辛子・豆板醤の辛味と、豚肉・しいたけの旨みがきいた味付け。

魚の健康成分が  
おいしくとれる

SuiSuiオープン  
うまい! 鯖匠 さば水煮 (缶詰)

日本で水揚げされたサバを使用して、国内の工場生産。ふっくらとした食感と、調味料にこだわったまろやかな味わい。シールをはがす感覚でスイスイッと開けられる「SuiSuiオープン」で開缶時も安全・安心。



全新商品の詳細につきましては、当社ウェブサイトのニュースをご参照ください。  
▶ <https://www.nissui.co.jp/news/20220125.html>



ニッスイグループでは、3つのマテリアリティを掲げ、社会課題の解決に取り組んでいます。

**1** 豊かな海を守り、  
持続可能な水産資源の  
利用と調達を推進する

**2** 安全・安心で  
健康的な生活に  
貢献する

**3** 社会課題に取り組む  
多様な人財が活躍  
できる企業を目指す



## 弓ヶ浜水産 米子陸上養殖センター、 陸上養殖マサバ初水揚げ

日立造船株式会社と共同で国内初となる大規模なマサバ循環式陸上養殖の共同開発に取り組んでいます。外海の海水を使用しないことによりアニサキスなどの寄生虫や魚病などのリスクを低減させ、自然環境に左右されないマサバの安定供給を目指しています。

## 岩手県大槌町での サケマス類養殖事業、 4月1日本格スタート

2020年1月より新おつち漁業協同組合やシンクタンク、地元事業者と協働してサケマス類養殖の事業化試験を実施してきました。既存の境港事業・佐渡事業に大槌事業が加わることで、より長い期間により広い地域へ、本格的に販売できるようになります。



## WWFジャパン 「プラスチック・サーキュラー・ チャレンジ2025」に参画

地球や海の恵みを受けて事業を営むニッスイにとって、海洋プラスチック問題への取り組みは責務と考えています。取り組むうえでは自社のみでは解決できない課題も多いことからステークホルダーとの協働が必要と考え、参画しました。



## 高純度EPA 医薬品原料を 米国に出荷開始

ファインケミカル総合工場鹿島医薬品工場および同つくば工場は、米国食品医薬品局(FDA)による高純度EPA医薬品の原料生産設備としての適格性審査を通過し、米国向けに医薬品原料の出荷を開始しました。今後、米国での高純度EPA医薬品の生産・販売が拡大することが見込まれています。



## 「健康経営銘柄2022」に 4年連続選定

2017年に「健康経営宣言」を制定し、社長を筆頭とする委員会を通じて、第三者の評価も得ながら取り組んでいます。この健康経営宣言では、従業員の心身の健康を積極的にサポートし、多様な人財が健康で能力を発揮できる環境を整備することで、生産性向上につなげることを目指しています。



**健康経営銘柄 2022**  
Health and Productivity

## 「準なでしこ銘柄」に 初めて選定

働く人の多様性を積極的に取り入れることが組織の活性化を促し、事業の発展につながると考えています。今後は、女性活躍推進に取り組みながら、性別のみならず、年齢・国籍・職歴などによらず多様な人財を受入れ、これを活かす企業風土を醸成する「人財育成」と「働き方改革」を継続します。



## Topics



## 「海とさかな」 自由研究・作品コンクール

多くの子どもたちに海や魚に興味をもってもらいたいことを目的に、1982年の第1回から協賛を続けています。第40回の今回は30,589点の個性あふれる作品が寄せられました。このコンクールを通じて、子どもたちが自ら調べて作品を創る過程で、海や魚に親しみをもってもらい、ひとりでも多くの「海とさかな博士」が誕生することを期待しています。



各ニュースの詳細につきましては、当社ウェブサイトのニュースをご参照ください。  
▶ <https://www.nissui.co.jp/news/index.html>

